

## はじめに

『わたし、じこはさんしました。』

このタイトルを掲げてブログを書きはじめてのが、2024年、夏の終わりのことでした。自己破産の手続き自体は、その年の初夏に終え、6月末には弁護士費用も払い終えて、這い上がりスタートアップのタイミングでした。

ブログを書きはじめて一番の理由は、「自分を信頼する大切さを伝えたい」ということです。正直なところ、自己破産をすることは恥ずかしいことだと思っており、なるべく口外しないで隠しておこう、と決めていました。また、こうして書いている今もお、心のどこかで恥ずかしいと感じているのかもしれない。

ではなぜ、恥ずかしいと感じたのか。それは、「この私がかこんなことになるなんて」という、捨て去っていたはずのプライドが根底にあったからです（このプライドについては、第四章で詳しく

く説明しています)。

債権者の企業さまには多大なご迷惑をかけているため、独りよがりのこの思いを堂々と記すものではないのかもしれませんが。しかし、そんなプライドによつて「この私がまさか……」と思つた自分がいたことは、紛れもない事実です。

また、自己破産をした事実を隠し続けることによつて、事業理念である『愛し愛される本来の自分に還る』ということ、伝えきれない、と感じたこともきつかけとなっています。ただ、このことを綴ることで、もしかしたら嫌悪される方も一定数いらつしやるかもしれません。それも承知のうえで書くことにしました。

ここで、私自身が経験した、自己破産手続きの時系列を記しておきます。

## 2023年

- ・ 4月 自己破産を決める
- ・ 5月 丸1カ月間は膨大な資料集め、関係各所への手続き、

なぜその事態に至ったかの経緯書作成の日々を送る

- ・ 6月 弁護士事務所書類を提出し、

その後は毎月家計簿と事業収支表の提出と弁護士費用の積み立て

- ・ 9月 自己破産手続き申立て

- ・ 10月 管財人弁護士との初回面談

## 2024年

- ・ 1月 裁判所にて債権者集会へ出廷。通常1回の出廷が印税の関係で2回に及ぶ

- ・ 4月 2回目の債権者集会へ出廷

- ・ 6月 手続きが終了し、債務免除決定。同月末に弁護士費用支払い終了

淡々と記しましたが、事が起きた経緯や折々の感情の動きなどを、手帳やノートに事細かに書き綴っていました。

さて、すでにブログで自己開示をしているにもかかわらず、なぜ書籍にも残そうと思ったのか？

についてお話しいたします。理由は大きく二つあります。

まず一つ目は、人生の大転換点だったこのときのことを、必死で生きた証の一つとして遺したい、というシンプルな思いがあったことです。いわゆる「自叙伝」というものですね。

どうぞ、一つの小説を読むかのように、お楽しみいただければと思います。

そして、二つ目の理由は、「人生における光と闇の側面のどちらも書に残したい」と思ったことです。実は、自己破産に至る引き金となった出来事の最中に、1冊目の著作『もう、人生は楽でいい自分を愛することで本質が目覚める』(GalaxyBooks株式会社 2022年8月9日発行)を執筆しています。この書籍の詳細は後述しますが、『つばきめぐみ』という著者像が、「いろいろあっただろうが、光に溢れた楽しい人生を送っている人」であり、自己破産をしているなど、到底思えないような内容を記しています。

しかし、人生には必ず、光の側面もあれば、闇の側面もあります。どちらもあつて人生であり、誰にでもあるものです。この書籍では、「闇の側面」を書き綴ることで、今まさに暗闇の状況にある

方へ、必ず光があることも知っていたけるようなエピソードも織り交ぜています。人生の何かの  
きっかけになれば、幸いです。

